

# 令和5年度自己点検・自己評価報告書

令和6年3月31日現在

アスカ国際学院

令和6年4月10日作成

A(適合している・達成した)、B(一部未達成であるが今年度中に確実に達成する見込みがある)、C(適合していない・達成していない)

## 1 「理念・教育目標」

1-1	学校設立理念	高度人材育成のための教育により、学生の夢の実現を図ることと、地域社会への貢献及び国際社会の発展に寄与すること。
1-2	教育目標	・高いコミュニケーション能力と、実践的な日本語能力の育成 ・異文化を理解し、尊重できる広い視野をもった国際力の育成 ・「利他の精神」を持ち、社会に貢献できる人材の育成
1-3	育成する人物像	日本語能力の高さのみならず、幅広い知識と見識を持ち、他者を尊重し、他者と協働できる、人間力の育成。

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
1-4	学校理念・教育目標が社会の要請に一致している。	A	一致している。
1-5	理念、教育目標が教職員、学生に周知されている。	A	教職員全体で共有し、学生指導の指針としている。ガイダンスにおいて学生にも周知している。

## 2 「学校運営」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
2-1	日本語教育機関の告示基準に適合している。	A	適合している
2-2	短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	A	教職員全体会議などの機会に校長から教職員に伝えている。
2-3	管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営が行われている。	A	管理運営規程どおりの運営が行われている。
2-4	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	A	事業管理は校長が統括し、教務主任が教員を、事務長が事務職員をそれぞれ統率しており組織的に機能している。
2-5	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	A	予算にあたっては積算根拠に基づき編成が行われ、予算執行は適切に行われている。
2-6	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	A	学校運営に関する情報は、校長統括の下、教務・事務の責任者を通して全職員に共有されている。
2-7	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	B	募集活動を行う際は通訳を介して学校紹介を実施しているものの、すべての募集国の言語に対応した書類を整えているわけではないので、今後整えていく。

2-8	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	A	学習面、生活面、手続き関係それぞれの担当者が学生に適切に対応している。
2-9	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	A	業務上の諸問題や改善については日々の打ち合わせ、教職員会議において議論され、全体会議において方針が示される。

### 3「教育活動の計画」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
3-1	理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	A	設定している。
3-2	教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	A	年3回具体的な教育活動の方針を打ち出し、教員間で会議を行っている。
3-3	国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。	A	CEFRを基準とし、熟達度によってレベルを設定している。
3-4	教育目標に合致した教材を選定している。	A	教材研究を行い、教育目標に合致した教材を選定し、使用している。
3-5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	A	年3回の教員会議で著作権法の制限を理解し使用にあたっては注意をはらっている。
3-6	内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	A	相互に授業見学を行い、教員同士でフィードバックを行い教育方法の共通理解を図っている。
3-7	能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	A	教員の適性等を考慮した配置を行い、相互研修も行っている。

### 4「教育活動の実施」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
4-1	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A	プレイスメントテストを実施し、クラス編成を行っている。
4-2	教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	A	試験結果・学習目標等は一覧表を作成し教員に伝達し共有している。
4-3	開示されたシラバスによって授業を行っている。	A	短期及び中長期的な学習内容・学習計画を開示している。

4-4	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	A	出席管理システムを導入し、授業用出席簿とシステムのダブルチェックを行っている。また、授業後は授業記録を記入し、教員間で共有している。
4-5	理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	A	日々の小テストと定期テストを行い到達度をわかり、カリキュラム作成にフィードバックしている。
4-6	学生の自己評価を把握している。	A	学期始期に自己目標シートを作成し、学期終期に自己評価を行いそれに基づいて個人面談を行っている。

## 5「成績判定と授業評価」

点検項目	評価	現状・具体的な取り組み
5-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	A	テストには配点を記入し、成績の判定基準と方法についても学期始期に学生に開示している。
5-2 成績判定結果を的確に学生に伝えている。	A	日々のテスト結果、定期試験、主体的な授業態度を相対的に評価し、学期末に学生に通知している。
5-3 在籍状況及び成績判定結果を的確に経費支弁者に伝えている。	A	学期ごとの出席状況及び成績表を経費支弁者に対してメールで通知している。
5-4 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	A	判定基準、判定方法について科目ごとに設定し、定期的に教員会議を開き検証している。
5-5 授業評価を定期的実施している。	A	教務主任と専任教員を中心に全授業を定期的に評価している。
5-6 評価体制、評価方法及び評価基準が適切である。	A	評価体制及び評価方法、評価基準を事前に教員に通知し妥当性を検証している。
5-7 学生による授業評価を定期的実施している。	A	学期ごとに学生による授業評価を実施している。
5-8 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。	A	授業評価の結果を踏まえ、改善方法を話し合い、教育の質の向上に努めている。

## 6「教育活動を担う教職員」

点検項目	評価	現状・具体的な取り組み
6-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A	1年に1回職務分掌を作成し、責任と権限を明確に定めている。

6-2	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	A	指導要領において教員に求められる資質、能力について明確化されている。
6-3	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	A	採用方法はマニュアル化されており、雇用条件は各種媒体に正確に記載されている。
6-4	教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。	A	内部研修を実施し、外部研修にも積極的に受講するよう促している。
6-5	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	A	ハラスメント相談窓口の担当者が2年に1回教職員に研修を実施している。
6-6	ハラスメント相談窓口を設置している。	A	相談窓口を設置し、相談窓口の電話番号を教職員に周知している。
6-7	教員及び職員の評価を適切に行っている。	A	評価制度を導入しており、コンピテンシーを用いた行動目標を設定し、適切に評価を行っている。

## 7「教育成果」

	点検項目	評価	現状・具体的な取り組み
7-1	入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A	個人ファイルを作成し、記録はすべて施錠された棚に管理してある。
7-2	修了・卒業の判定を適切に行っている。	A	出席状況及び成績を総合的に判断し、修了の判定を行っている。
7-3	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A	学校が団体申し込みを行っているため、すべて把握している。
7-4	卒業又は修了後の進路を把握している。	A	全て把握している。進学者の入学許可書を個人ファイルに管理している。
7-5	卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	A	卒業生への定期的な連絡のやり取りを継続しており、進学先、就職先に対しても定期的に状況を確認している。

## 8「学生支援」

	点検項目	評価	現状・具体的な取り組み
8-1	学生支援計画を策定し、支援体制を整備している。	A	支援計画を策定し、それぞれの担当者を定めている。
8-2	生活指導責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。	A	学期ごとのガイダンスにおいて学生に担当者を周知し、24時間連絡が取れるシステムをとっている。

8-3	日本社会を理解し、適応するための取組を行っている。	A	日本事情や警察講習等を通して、日本の社会に適応するための支援計画を立てている。
8-4	留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施している。	A	学期開始時や長期休暇前に全学生を対象に実施している。
8-5	奨励金に関する規定が明確に定められており、学生及び経費支弁者に周知されている。	A	規定を定め周知されており、在籍者はそれを目標に勉学に励んでいる。
8-6	奨励金に関する規定の通り、学生に奨学金が付与されている。	A	学期終期に表彰式を行い奨励金を付与している。
8-7	住居支援を行っている。	A	在籍期間中は学生寮への入居が可能であり、学生寮には必要な備品を備え付けている。
8-8	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A	要望があった学生にはアルバイト支援を行っている。また、学生のアルバイト先を把握し、担当者と連携をとっている。
8-9	健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A	年1回健康診断を受診。手指消毒器、消毒液噴霧器の設置、校舎内清掃を毎日実施している。
8-10	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	A	入国後速やかに担当者が市役所へ引率し、国民健康保険に加入している。また全学生が学校を介して留学生保険に加入している。
8-11	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A	重篤な疾病、傷害、感染症発生時のガイドラインを定めている。
8-12	交通事故等の相談体制を整備している。	A	学生は生活指導担当者に24時間連絡がとれる体制が整っている。
8-13	危機管理体制を整備している。	A	危機管理マニュアルを作成し、安全管理体制を整えている。
8-14	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施している。	A	1年に2回避難訓練を実施し避難方法、避難場所、連絡方法について確認している。
8-15	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	A	警報発令時のマニュアルを作成し、周知している。

## 9 「進路に関する支援」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
9-1	進路指導担当者を特定している。	A	担当者を特定し、個々の学生に応じた適切な進路指導に取り組んでいる。
9-2	学生の希望する進路を把握している。	A	年3回個人面談を実施し、面談記録を保管している。
9-3	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A	掲示板等にチラシ等を添付し、学生が閲覧できる場所に資料を備え、最新の情報を提供している。

9-4	入学時からの一貫した進路指導を行っている。	A	入学後すぐに個人面談を実施し、中長期的な目標の設定、学習計画を立てている。
-----	-----------------------	---	---------------------------------------

## 10「入国・在留に関する指導及び支援」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
10-1	入管事務担当者特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A	入管事務担当者特定し、職務内容、責任、権限を明確に定めている。
10-2	担当者は、研修受講等により最新、かつ、適切な情報取得を継続的に行っている。	A	外部講習等を受講している。法務省のHP等により法改正等の情報も確認している。
10-3	地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している。	A	申請等取次者を設置している。
10-4	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	A	学期始期及びビザ更新時に全学生を対象に入管法について指導を行っている。
10-5	在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	A	最新情報を把握し、整理されている。
10-6	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	A	問題があれば早急に担当者に対応し、指導を行う。
10-7	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。	A	月1回のアルバイト調査、年2回の犯罪防止講習を実施している。
10-8	過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	A	2023年4月開校。現在まで該当者なし。

## 11「教育環境」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
11-1	教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	A	照度、換気、防音ともに設備が整っている。
11-2	授業時間外に自習できる部屋を確保している。	A	開校時間内は学生が自由に利用できる自習室がある。
11-3	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A	小説、日本語学習教材、マンガ、絵本、DVD等、さまざまなジャンルの図書、メディアが揃っている。
11-4	視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	A	各教室にプロジェクターとスピーカーを設置し、より効率的な授業を実施している。

11-5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A	十分なスペースが確保できている。
11-6	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	A	学生数に応じて設置している。
11-7	法令上必要な設備等を備えている。	A	基準に適合している。
11-8	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A	廊下、階段も十分な広さがあり危険のない状態である。

## 12「入学者の募集と選考」

	点検項目	評価	現状・具体的な取り組み
12-1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A	年2回の募集にあたり、募集計画を策定している。
12-2	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A	定期的に学校主催の留学相談会をオンラインで実施している。
12-3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	B	複数言語の要項を志願者に開示しているが、すべての入学者の母語に対応しているわけではないため、今後整えていく。
12-4	海外の募集代理人(エージェント等)に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	A	法令上の違反なく募集活動が行えるよう、業務委託契約書を締結している。
12-5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A	入学選考基準及び方法は明確化されている。当該年度はコロナ禍で現地面接には行けていないため、オンライン面接を行っている。
12-6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者(職員等)が面接などの調査を行うよう努めている。	A	面接時に留学目的、経歴、家族構成、経費支弁者等の情報をすべて聞き取り、提出書類と照合させている。提出書類の信ぴょう性をはかるため学校職員が現地への電話調査等を行っている。
12-7	入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A	面接及び入学試験において日本語力、志望理由等を確認した上で、受け入れが可能かどうかの判断をし、合否を決め、適切なコースを案内している。
12-8	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A	学費請求書に詳細を明示している。
12-9	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	A	学費請求書に学費返還規定を明示している。

### 13「財務」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
13-1	財務状況は、中長期的に安定している。	A	各種資産の積立等により中長期的な財政の安定を確保している。
13-2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A	顧問税理士やメインバンクによる財務分析を受けており、予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。
13-3	適正な会計監査が実施されている。	A	顧問税理士と連携し、適切な会計処理と監査を行っている。

### 14「法令遵守」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
14-1	法令遵守に関する担当者を特定している。	A	担当者を特定している。
14-2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	B	専任教員・職員を対象にコンプライアンス意識を高めるための内部研修を年1回実施しているが、今後非常勤講師の研修も行う必要がある。
14-3	個人情報保護のための対策をとっている。	A	Pマーク（プライバシーマーク）を取得し、教職員の個人情報保護に対する意識と知識を高めるための研修及び個人情報教育テストを実施している。
14-4	地方出入国在留管理局、その他関係官公庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A	必要な届出、報告は延滞なく行っている。

### 15「地域貢献・社会貢献」

点検項目		評価	現状・具体的な取り組み
15-1	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	A	学校の図書室をまちライブラリーに登録し、近隣住民に一般公開している。
15-2	ボランティア活動への学生参加の支援を行っている。	A	子ども食堂や近隣で開催されるイベントへの参加・協力をし、地域との交流を積極的に図っている。
15-3	公開講座等を実施している。	B	SNS等で日本語講座を公開しているが、さまざまなレベルに対応したものを今後発信していきたい。